

未来へつなぐ森林を

森林施業プランナー

はたなか ゆりな
畠中友里奈さん

森林施業プランナーとして、滋賀中央森林組合で勤務する畠中さん。森林所有者とともに長期的な視野で健全な森づくりに取り組んでいます。森林を数十年先の未来へとつなぐ林業。今回は、数少ない女性プランナーとして活躍する畠中さんにお話を伺いました。

■森林施業プランナーとは？

簡単に言うと、森林所有者に代わって地域の森林の管理を行う仕事です。森林には水を蓄えたり、木材として我々の生活に活用したりするなど、重要な役割があります。しかし、放置された人工林は、これらの機能が低くなる場合があります。

そこで、私たちプランナーは間伐や間伐材の搬出を森林所有者に提案し、ご理解を得た上で、施業（下刈や間伐などといった山の手入れ）を行います。最近では、山に関心を持っていただくため、間伐材の売り上げを森林所有者にお返しできるよう努めています。森林所有者とともに未来を見据えた森づくりを目指します。

■この仕事に就いたきっかけは？

私自身、小さい頃から自然に触れることが多く、山登りや木登りが好きでした。そのことから、大学で林学を学ぶようになり、そして仕事にも活かしたいと思い、現在につながっています。

■今後の目標は？

手入れの行き届いていない森林の整備をさらに進めていきたいです。私たちが仕事として手がけるのは、人工林が中心なのですが、人の手で植えられた木は、人の手で適正な管理をしていく必要があります。

私たちが、現在手掛けて

いるのは数十年先に生きる仕事で、未来へより元気な森林を手渡すお手伝いをさせていただいていると思っています。



元気な まちがど



1 news 甲賀調理師会ふるさとヘルシー料理調理体験

18メートルの長巻き寿司

油日小学校の6年生36人が7月1日、甲賀調理師会の指導のもと、地元の新鮮な野菜を使った調理体験をしました。

この日の献立は、18メートルの長巻き寿司、地元野菜の冷麺とすりおろしリンゴのゼリーで、野菜は油日自治振興会から提供されました。

「セーの」の掛け声とともに6年生全員で一気に巻き上げた長巻き寿司。気持ちをひとつにして完成させた生徒たちの拍手が廊下に響きました。



▲協力して長巻き寿司を作る生徒たち

2 news

たなばた竹宵のタベ 竹灯籠と竹飾りで迎える七夕

雲井自治振興会主催の「たなばた竹宵のタベ」が7月4日、雲井駅で催されました。

当日は雨にもかかわらず、ライトアップされた駅前には多くの人が訪れました。駅舎にはオカリナやサクソスの生演奏が響き、雨の雲井駅は小さなコンサート会場となりました。

また、信楽高原鉄道イベント列車「雲井号」が人気を集め、多くの親子が七夕の飾り付けに彩られた車内を楽しみました。

ライトアップされた雲井駅前▼



3 news

「EV急速充電スタンド」完成披露式典

忍音音頭で園児がお祝い

「EV（電気自動車）急速充電スタンド」完成披露式典が7月9日、土山サービスエリアで催されました。新名神高速道路において、急速充電スタンドが設置されるのは初めてのことで、この日から充電サービスが開始されました。

この日は、完成を祝いに訪れた、土山にこにこ園の園児による忍音音頭が披露され、多くのサービスエリア利用者が見入っていました。



▶完成披露式典除幕式の様子

4 news 水口特産のかんぴょう作り

伝統的な作り方を受け継ぐ

みなくち自治振興会によるかんぴょう作りが7月15日、水口中部コミュニティセンターで行われました。

原料として使われたユウガオは、同会健康ふくし委員会が5月に植えた苗から収穫されたものです。

この日は、若い親子や高校生が参加し、初めてのかんぴょう作りを体験しました。薄さ2〜3ミリにむかれたユウガオの果肉は、参加者の手により一本一本竿にかけられ、青空の下で風に揺られていました。



▲親子一緒にかんぴょう作り